

特集 区民の皆さんといっしょに

問合せ区役所総務課(企画調整) 電話 4809-9908

区民協働の取組み

「住んでよかった、住み続けたい」まちづくりを、区民の皆さんといっしょに進めています。

健康づくりの主役は区民の皆さんです

健康意識を高めましょう!年に一度は健康チェック
～健康診断を受けて生活習慣病を予防しましょう～



ひかりちゃん

東淀川区健康づくり区民会議では、健康情報の発信や地域でさまざまな取り組みが行われています。

区医師会・区歯科医師会・区薬剤師会では、区ホームページ「健康づくり区民会議・健康づくり情報」の中で、「健康ワンポイントアドバイス」と題した健康情報の発信を行っています。また、区栄養士会では、季節や素材に応じた「元氣いききレシピ」を発信しています。健康づくりの参考にしてください。

また、健康づくり事業の募集や健康づくり区民会議の活動内容も掲載されていますので、ぜひご覧ください。健康づくり事業の募集は、「広報ひがしよどがわ」にも掲載していきます。

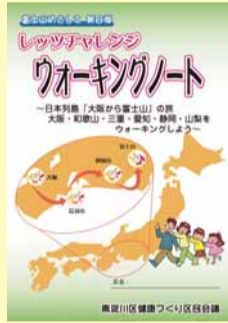


クリック

健康づくり区民会議
健康づくり情報

レッツチャレンジウォーキングに参加しよう!

区民の皆さんや各種団体・企業と連携して取り組んでいる歩数計を使った仮想の旅「レッツチャレンジウォーキング」は現在第8弾「大阪～富士山の旅」を進行中です。これまでに延べ約5,600名が参加しています。あなたもウォーキングの輪に加わりませんか?現在、参加者を募集しています。



ウォーキングで健康づくり～運動習慣の定着を～

平成20～22年度にかけて、地域の皆さんが中心となり、17地域の「ウォーキングマップ」を作成しました。現在、13のウォーキンググループが立ち上がり、活動を続けています。

区役所では、「ウォーキングセミナー」・「地域ウォーキング講習会」・「ウォーキング大会」・「レッツチャレンジウォーキング」などにより、引き続きウォーキングの取り組みを支援していきます。

まだ参加したことのない方も、地域ウォーキングの輪に参加してみませんか?



地域の身近な場所でサポーターとともに介護予防に取り組みましょう!

平成23年度から、各地域の会館などで、サポーターの皆さんを中心に「いきいき百歳体操」の取り組みがスタートしています(平成24年10月現在:18カ所)。継続して参加することで「階段の上り下りが楽になった」という声も聞かれています。週1～2回体操に参加することで、地域の方々と交流する機会が増え、閉じこもりを予防することができます。

参加者として、またはサポーターとして、「いきいき百歳体操」に興味をお持ちの方は、お問い合わせください。



健康づくり講演会に参加しましょう!

これまでは「ウォーキング」を中心とした講演会を行ってききましたが、今後もさまざまなテーマで講演会を行い、区民の皆さんとともに健康づくりの輪を広げていきたいと考えています。12月2日(日)には、「お父さん・お母さん世代の健康づくり講演会」を開催します。

健康づくりの主役は区民の皆さんです。多数のご参加をお待ちしています。



問合せ区健康づくり区民会議(区役所保健福祉課【健康づくり】内) 電話 4809-9882

地域で子育てを応援しています!

子育てサロン

東淀川区では、就学前の子どもとその保護者が集う「子育てサロン」が、全ての小学校区に開設されています。子育て中の親が気軽に集い、子どもが遊びを楽しむのはもちろんのこと、保護者の子育ての相談や情報交換、仲間づくりの場になっています。



子育てサロン

児童委員・主任児童委員・児童虐待防止地域協力委員

民生委員が兼務する児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援などを行っています。主任児童委員は、児童福祉に関することを専門的に担当することとして、児童委員の中から選任されます。民生委員・児童委員および主任児童委員は、学校・保育所・幼稚園と連携して児童虐待防止に取り組んだり、ボランティアとともに子育てサロンを運営したり、各地域で活動しています。また、児童虐待の専門研修を受講した主任児童委員が児童虐待防止地域協力員となり、児童虐待の発見・相談・援助を行っています。



子育てサロンスタッフ研修(救急救命研修)

問合せ区役所保健福祉課(子育て支援室) 電話 4809-9854

地域福祉アクションプラン

住民主体のよりよい地域づくりをめざして、「東淀川区地域福祉アクションプラン」の推進を図るため、「社会福祉施設と地域の交流事業」や「区ボランティア・NPO連絡会」の運営支援を行っています。

「社会福祉施設」と「地域」の交流事業



3月17日に豊新地域で、「こんな時、あなたはどうしますか?」をテーマに、ジレンマ場面から学ぶ災害対応ゲーム「クロスロード」が行われ、防災に関する取り組みや福祉のまちづくりを進めるための良い機会になりました。

「区ボランティア・NPO連絡会」の運営支援

視覚特別支援学校とその教諭の協力を得て、プレクストークの機械に触れ、操作を体験しました。※プレクストークとは、視覚に障がいのある方向けの装置です。



問合せ区役所保健福祉課(福祉) 電話 4809-9857